



150 年目の『不思議の国の アリス』を原書で読む

2015 年は『不思議の国のアリス』出版 150 周年の年にあたり、世界各地で記念イベントも計画されています。『アリス』はイギリス文化を知る上でも重要なテキストであり、この本の言葉遊びの感覚は原書でなければ味わうことはできません。この機会に『アリス』を英語で読んで、なぜこの作品がこれほどまでに愛されているのかを考えてみましょう。

- ◆日 時：平成 27 年 5 月 30 日・6 月 13 日（土）14:00～15:30
- ◆会 場：サテライトキャンパスひろしま（広島市中区大手町 1 丁目 5-3 県民文化センター）
- ◆講 師：県立広島大学人間文化学部国際文化学科 教授 吉本和弘
- ◆募集人数：30 名
- ◆対 象：どなたでも
- ◆受講料：無料
- ◆申込方法：往復はがきで、往信面の裏に①郵便番号、②住所、③名前（ふりがな）、④電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前（〇〇様）をご記入の上、平成 27 年 5 月 14 日（木）（消印有効）までに、下の申込先にお送りください。申込多数の場合は抽選となります。受講の可否は申込締切日以降に返信はがきでお知らせします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報には県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

- ◆申込・問合せ先：〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71
県立広島大学地域連携センター「アリス講座」係
電話（082）251-9534（平日 9:00-18:00）
 - ◆主 催：県立広島大学地域連携センター
 - ◆後 援：日本ルイス・キャロル協会
- 

《 内 容 》

第1回 5月30日

なぜアリスはウサギ穴を落ちるのか

『不思議の国のアリス』の第一章から原文を読み進めます。なぜアリスは落ちるのか。なぜ体のサイズがめまぐるしく変わるのか、原文を読みながら様々な解釈を試みます。



第2回 6月13日

A Mad Tea Party はなぜ盛り上がらないのか

おかしい三人(匹)の座ったお茶会のテーブルに立ち寄ったアリスは、その三人の狂った論法に翻弄されます。彼らの論理は何が変なのでしょう。裁判小説とも読める『不思議の国のアリス』の全体構造についても考えます。



*10月下旬に第3回・第4回を開講する予定です。